

“たいせつなあなた”

園長 高杉 洋史



新聞の各ページの下の方にある本の紹介を見るのが好きです。最近ふと二面倒だから、しよう」という本の紹介が目にとまりました。著者渡辺和子さんのことは恥ずかしながらその時まで存じませんでした。肩書きにノートルダム清心学園理事長とあり精神性の高い方だろうなどは感じましたが、日本の歴史にも病気にも翻弄されながら、36歳から86歳の現在まで50年間、大学の学長や理事長の仕事をこなされ、大学生に講義もされ、付属幼稚園の園長も兼任された時期があるとか。その時のお話の中に子どもたちに伝えたいことが書いてありました。「人に迷惑をかけるないようにすることはどこのご家庭でも教えてくださっています。幼稚園では困っている人や弱い立場の人に手を差し伸べる心を育てたい。」

先日、スイトピーの種をさやから外す仕事を近くにいた子どもたちに手伝ってもらいました。お手伝いを喜んでやってくれます。助けてあげること、手伝うこと、人の役に立つことの快さを感じているようです。

教育目標に「優しい心を育てます」と掲げることは簡単ですが、実現することとは難しいことです。優しい心を育て、困っている人や弱い立場の人に手を差し伸べる勇気や積極性を育てる具体的方法を模索していこうと思います。幼児の感受性豊かな時だからこそ、必要なことです。私たちの責任はとても重いです。

秋に年長の子どもたちがどんぐりころころの歌のドングリが、お池にはまった後にどうなったかの絵を描きました。鳥に助けられたり、お父さんやお母さんドングリに助けられたり、池に橋ができたり、飛行機が飛んできたり、それぞれ興味深い救助方法が開発されています。

勇気や積極性に裏打ちされた本当の優しさを一緒に育てていきましょう。温かい手とまなざしが「たいせつなあなた」を育てます。



赤いスイトピーの種です。
さやから外して播きます。